

● 世界の主な地震

令和 7 年（2025 年）11 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

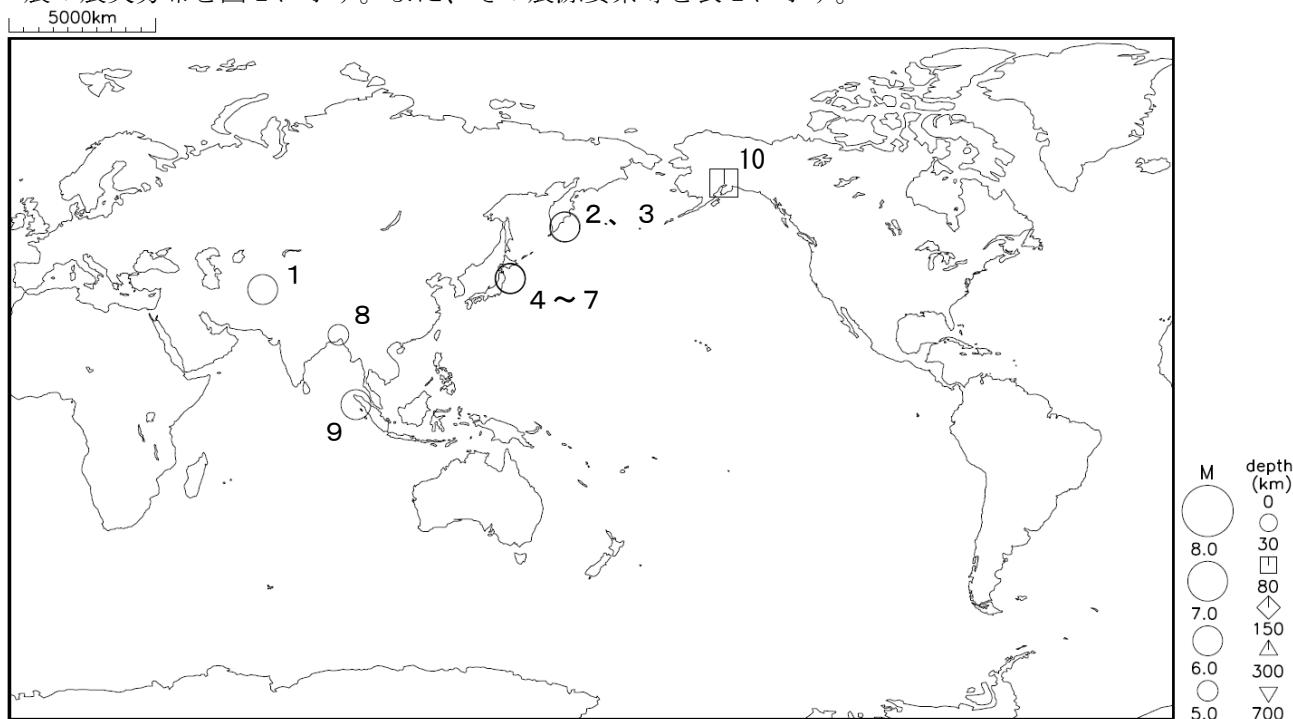


図 1 令和 7 年（2025 年）11 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 令和 7 年（2025 年）11 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

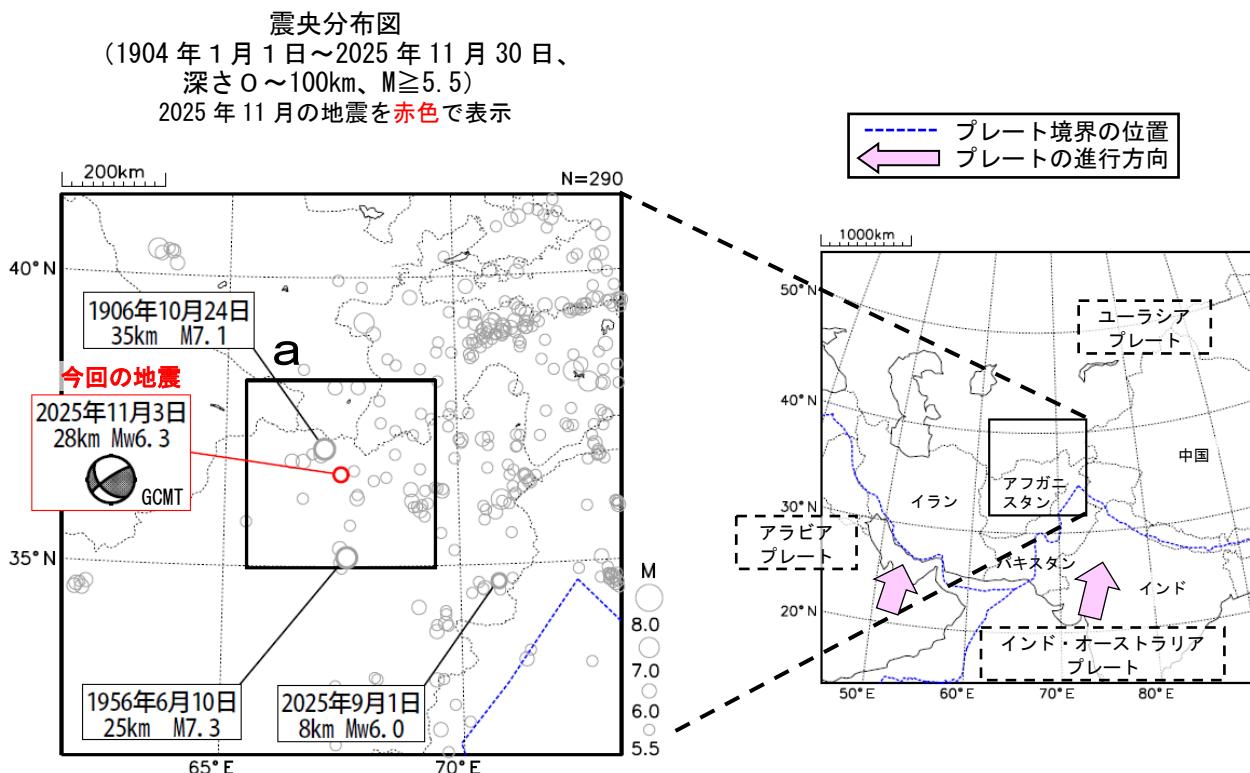
番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	11月03日05時29分	N36° 32.9'	E 67° 22.4'	28			6.3 _G	アフガニスタン、ヒンドゥークシ	死者26人など		
2	11月03日17時44分	N52° 13.8'	E160° 23.9'	29			6.1	ロシア、カムチャツカ半島東方沖			
3	11月05日08時28分	N52° 6.6'	E160° 11.3'	28			6.0	ロシア、カムチャツカ半島東方沖			
4	11月09日17時03分	N39° 24.1'	E143° 30.4'	16		6.9	(6.7)	三陸沖	津波観測16cm（大船渡）など	○	
5	11月09日17時14分	N39° 28.9'	E143° 31.3'	浅い			6.1	三陸沖			
6	11月09日17時54分	N39° 27.1'	E143° 24.1'	14		6.6	(6.4)	三陸沖			
7	11月10日16時23分	N39° 33.5'	E143° 33.4'	浅い		6.4	(6.1)	三陸沖			
8	11月21日13時38分	N23° 48.4'	E 90° 38.9'	27			5.4 _G	バングラデシュ	死者10人など		
9	11月27日13時56分	N 2° 41.5'	E 96° 1.5'	25			6.6	インドネシア、スマトラ北部			
10	11月28日02時11分	N61° 34.1'	W150° 45.0'	69			6.0	米国、アラスカ州南部			

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの”Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2025年12月1日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mw の欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- 被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2025年12月1日現在) による。
- 地震発生時刻は日本時間〔日本時間=協定世界時+9時間〕である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)（※）を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- 「遠地」欄の○印は、「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration)による（2025年12月1日現在）。

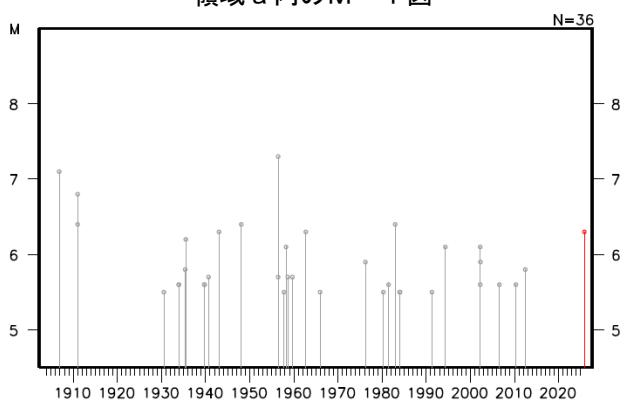
11月3日 アフガニスタン、ヒンドゥークシの地震

2025年11月3日05時29分（日本時間、以下同じ）にアフガニスタン、ヒンドゥークシの深さ28kmでMw6.3の地震（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（Global CMTによる）は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。今回の地震により、死者26人、負傷者1,172人などの被害が生じた。

1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM6.0以上の地震が時々発生している。1956年6月10日にはM7.3の地震が発生し、死者350人などの被害が生じた。



領域a内のM-T図



*震源要素は、2021年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 12(1904–2021)、2022年以降は米国地質調査所(USGS)による(2025年12月1日現在)。ただし、吹き出しが付けた地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。今回地震の被害は、OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2025年12月1日現在)、その他の地震の被害は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置とプレートの進行方向はBird(2003)*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003). An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

11月21日 バングラデシュの地震

2025年11月21日13時38分（日本時間、以下同じ）にバングラデシュの深さ27kmでMw5.4の地震（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（Global CMTによるCMT解）は北北東—南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、バングラデシュで死者10人、負傷者507人などの被害が生じた（2025年12月1日現在）。

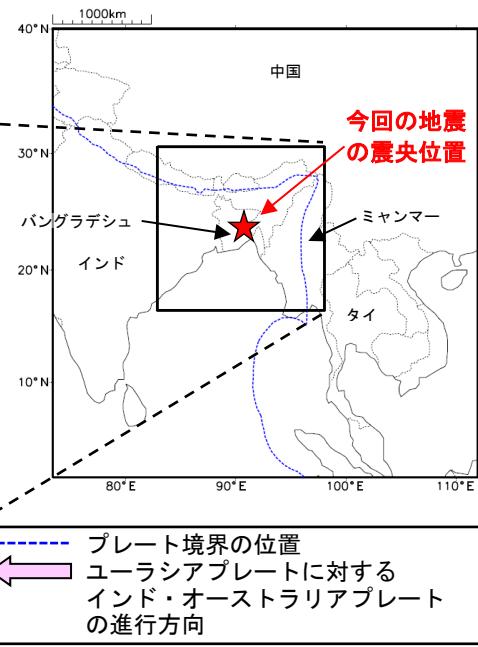
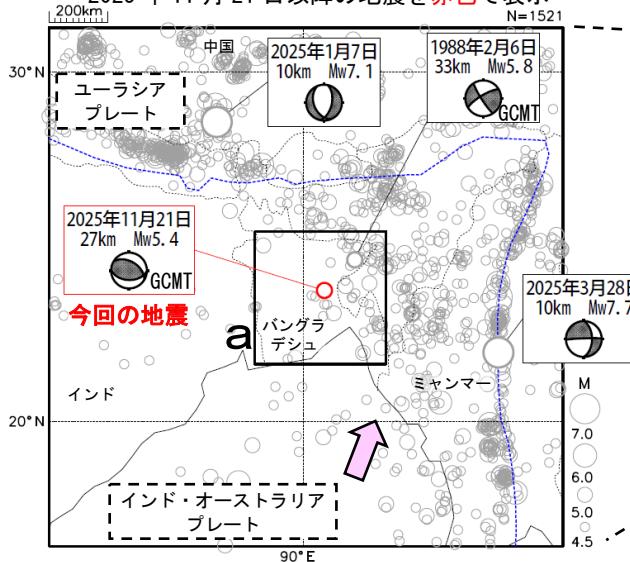
1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM5.0以上の地震が時々発生している。1988年2月6日にはMw5.8の地震が発生し、死者2人、負傷者100人などの被害が生じた。

1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域b）ではM6.0以上の地震がまれに発生している。1923年9月10日にはMw6.9の地震が発生し、死者50人などの被害が生じた。

震央分布図

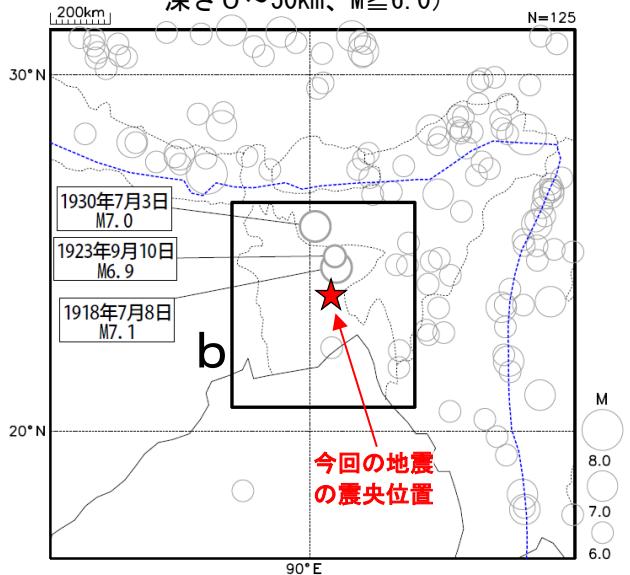
（1980年1月1日～2025年11月30日、
深さ0～50km、M≥4.5）

2025年11月21日以降の地震を赤色で表示

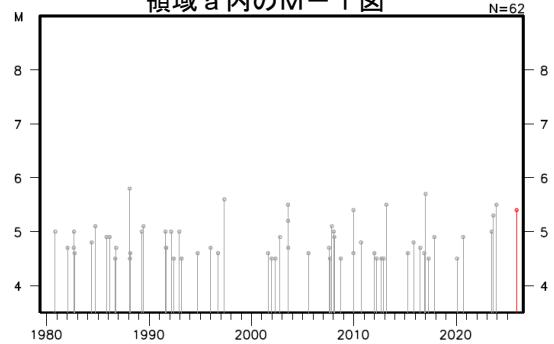


震央分布図

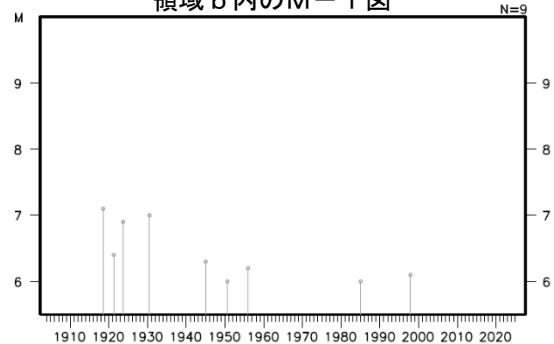
（1904年1月1日～2025年11月30日、
深さ0～50km、M≥6.0）



領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



※震央分布図のうち、上図内の震源要素は、米国地質調査所(USGS)による（2025年12月1日現在）。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwは、2025年1月7日の地震及び2025年3月28日の地震は気象庁、1988年2月6日の地震及び今回の地震はGlobal CMTによる。下図内の震源要素は、2021年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 12(1904–2021)、2022年以降は米国地質調査所(USGS)による（2025年12月1日現在）。地震の被害は、今回の地震はOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2025年12月1日現在)、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置とプレートの進行方向はBird(2003)*1より引用。

*1参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.